

Vol.047

福島市議会真政会報  
— 平成28年10月 —

# 真政会報

真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



小松 良行 菅田 憲孝 白川 敏明 川又 康彦 萩原 太郎 二階堂 武文 大平 洋人  
尾形 武 真田 広志 穴戸 一照 半沢 正典 渡辺 敏彦 黒沢 仁

## 会長挨拶



半沢 正典

現在、地方自治体には都市間競争という言葉が独り歩きしております。果たし

て何処かの都市との競争に勝ち、自分のまちさえ良くなればそれでいいのでしょ  
うか？競争は往々にして同  
じパイの奪い合いとなり時  
には恨みと亀裂を生じます。  
人口減少の中で今やるべき  
競争は、周辺他自治体と如  
何に連携しお互いの強みを  
活かし圏域全体の利益を追

## 都市間連携、共存共栄の時代

求するために知恵を絞る競  
い合いです。そのような観  
点から真政会は、まずは信  
頼関係を醸成するため昨年  
から伊達・二本松・米沢の  
各市と独自に議員間交流を  
積極的に進めております。  
(後掲) これからは都市間  
連携そして共存共栄の時代  
です。

## 平成28年9月議会定例会議の報告

9月定例会議は、9月1  
日に開会し、一般会計補正  
予算19億5,685万円  
余(内、復興関連3億9,  
641万円)、特別会計予  
算総額4億233万円余の  
審議、平成27年度の福島市  
各会計歳入歳出決算認定の  
審議、条例改正、請願・陳  
情・意見書の審査等を行い、  
9月23日に閉会しました。  
今回の主な案件は、平成  
28年度一般会計補正予算等  
の議案16件と報告7件で、  
それぞれ各常任委員会へ慎  
重な審議がされました。  
一般質問において、当会  
派からは、白川敏明議員・  
大平洋人議員・川又康彦  
議員・小松良行議員・半沢  
正典議員・二階堂武文議員  
の順番で6名が質問に立ち、  
それぞれの立場から市政各  
般にわたり、提言を含め質  
し、市政にとって建設的な  
答弁を導き出しました。

## 決算特別委員会で福島市議会初の「直接審査」を実施

平成27年度各会計歳入歳  
出決算認定の件が、4日間  
にわたる決算特別委員会の  
全体会並びに各分科会の慎  
重審査により、9月定例会  
議最終日に可決されました。  
今回は、「旅費」の内、  
市長の海外を含む県外出張  
に関する31件について、直  
接審査(福島市議会初)を  
行い、併せて、その一部を  
秘密会として行いました。  
採決では、賛成多数によ  
り認定すべきと決定しまし  
たが、委員長報告に次のよ  
うな要望を付しました。「市  
長の公務出張にあたっては、  
危機管理の最高責任者とし  
て責務が果たされるよう、  
庁内事務局とのなお一層の連  
携を図るとともに、旅費に  
関する現行の運用内容につ  
いては、公私の区別を明確  
にするなど諸規定の整備に  
努められたい」。  
今回の特別委員会では、  
当会派の大平洋人議員が副  
委員長を務めるとともに、  
川又康彦議員・菅田憲孝議  
員が総括質疑に立ちました。

福島市議会 真政会 presents

## 第三回 市民との意見交換会 2016

CHALLENGE FOR NEXT

市民の皆様へ  
本市中心市街地の将来像について  
～あのにぎわいをとりもどすために～

平成28年  
開催日時 **11月6日**  
午後2時～3時30分

開催会場 **福島市民会館301会議室**  
(福島市霞町5-12)

この度、真政会では本市の喫緊の課題でもある市中心市街地の将来像をどう創るべきかを、議員だけの議論に留めず、市民の皆様の意見も伺い、その意見も市政に反映できるよう取組めます。ぜひとも市民の皆様のご参加をお待ち申し上げます!! 今回の意見交換会でも、テーマ以外の市政全般の意見要望についても伺います。

お問い合わせ 福島市議会・真政会  
TEL.535-1111 FAX.533-7614

TEL 535-1111  
FAX 533-7614

URL ▶ <http://www.sinseikai.net/>  
E-mail ▶ [host@fk-shinseikai.org](mailto:host@fk-shinseikai.org)

発行責任者 ▶ 半沢 正典  
編集責任 ▶ 政務調査会

# 各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。平成26年4月からスタートした福島市議会基本条例に基づくとともに市政発展のため全力を尽くしてまいります。なお、【 】内は当会派の所属議員名です。

## 総務 (定数9人) 【真田・尾形・大平・菅田】

【総務部】今回、広域連携促進事業費として連携中枢都市に関する調査研究するための予算が計上されました。福島市の中核市への移行を見据え、周辺自治体の連携推進のため圏域調査を行います。調査対象は本市を含む県北8市町村と白石市、飯館村の10の自治体で進めて参ります。

【消防本部】消防庁の通知に基づき、重大な消防法令違反がある防火対象物について、その関係者に適正化を求めるため立ち入り検査の結果を通知した日から30日を経過した日において、その違反が改善されなければ違反内容が公表されるよう福島市火災予防条例の一部が改正されました。条例施行は平成29年10月1日となります。

なお、福島県内では本市と管内人口20万人以上のいわき市および郡山広域消防組合が対象となり遅くとも平成30年4月1日までに施行する予定です。

## 文教福祉 (定数8人) 【渡辺・黒澤・白川】

【子ども未来部】放課後児童クラブ職員の賃金改善に必要な経費の一部を補助するため9千355万円余が補正されました。

【健康福祉部】福島県の「子どもむし歯緊急対策事業」を活用し、効果が明らかとなっているフッ化物洗口を実施いたします。

【教育委員会】学校施設の耐震化の加速化を図るため6校の屋内運動場の耐震診断、2校の耐震補強設計を実施します。十六沼公園北側用地整備事業において、天然芝サッカーコート(105m×68m)二面の設計業務委託等の事業費が計上されました。また、福島市学校条例の一部を改正する条例制定の件については、福島市立大波小学校を廃校とし、福島市立岡山小学校に統合(平成29年4月)となります。  
【決算分科会】平成27年度歳入歳出決算認定については、全会一致で承認いたしました。

## 経済民生 (定数9人) 【半沢・萩原・川又】

【農政部】福島大学農学系教育研究組織設置支援事業費として、金谷川キャンパス内の設置予定を受け、福島大学及び期成同盟会と連携しながら設置に向けた支援体制を構築します。

【商工観光部】インバウンド推進事業費として、外国人来訪への対応のため案内所への外国人配置による多言語化(英語)案内を実施します。

【市民安全部】証明書等コンビニ交付サービス事業として、個人番号カードを活用して主要コンビニエンスストアにて住民票の写しなどの各証明書が取得できるサービスの提供を平成29年1月から開始するため所要額を計上しました。

また、各部より昨年策定した福島市総合戦略にある重要業績評価指標について、その進捗状況の報告がありました。決算分科会については、当分科会に付託された案件は可決し委員長に報告しました。

## 建設水道 (定数8人) 【穴戸・小松・二階堂】

【建設部】主な補正として、交通安全施設の設置・修繕に関する要望が増加し、対策が急務と判断した修繕等の費用7千万円を追加しました。また、日々のパトロールや市民からの情報提供で発見される舗装道路の危険箇所の修繕工事費として2億2千万円を追加しました。さらに、街路樹(ケヤキ)の成長に伴う維持管理費の増大が予想され、道路緑化費として3千万円を追加しました。  
【都市政策部】駅東口の「シェルター(雨よけ)」の支柱の修繕など駅前広場の維持管理費の補正1千800万円。早稲町地区暮らし・にぎわい再生事業費で2千620万円を補正しました。

【水道局】「協議会」において、高湯の神ノ森浄水場更新工事について当初の既存配水池を活用した施行が困難となり、新たに新設タンクを設置する必要が生じ契約を変更した旨の報告がありました。

## 政治倫理特別委員会

福島市議会では、議員の政治倫理について、平成26年3月27日に制定された議会基本条例で位置づけるとともに基本条例とは別に条例で定めることとされており、  
当特別委員会は、この議員政治倫理条例を策定するため、平成28年6月1日に改めて設置されました。

今後、条例の考え方について整理を行い、条例素案の検討、各条例案の内容について検討等を行ってまいります。

## 除染推進等対策調査特別委員会

当委員会は、8月に仮置場の状況を検証するため、現地調査を行いました。雨水対策や、定期的な放射線量確認について説明を受けるとともに、保管容器の耐久性等を質しました。その後、道路・側溝除染現場を視察し、側溝に堆積している土砂の状況や、線量計による計測状況を検証しました。また、側溝の蓋はブルーシートに並べられ慎重かつ丁寧に作業をしていることを確認しました。その後、委員会では「未除染地区においては早期に仮置場を設置し除染を実施するよう当局に求めていく」という意見がありました。さらに、9月の委員会にて、福島市ふるさと除染実施計画(第2版)の一部改訂について、計画期間を平成28年9月30日から来年3月31日まで延長されたこと等、説明がなされました。

## 中核市移行に関する調査特別委員会

平成28年7月4日緊急会議において、市長から平成30年4月の中核市移行が示され、中核市移行に伴う保健所整備設計委託費を計上した一般会計補正予算3千300万円が、本会議において賛成多数により可決されました。当特別委員会では、保健所整備を中心とした中核市移行への諸課題の解決に向け、これまで実施してきた調査の経過等について9月定例会議で中間報告をいたしました。

主な内容としては、当局説明や行政視察による調査を踏まえ、主に地域の実情を踏まえた市民サービスの向上及び保健所設置にかかる財政負担についての意見があり、特に保健所設置については、  
● 医師、保健師、獣医師、薬剤師等の専門的な知識や経験を有する職員の確保と人材確保や職員研修について十分な検討を行う必要性

● 執務室及び駐車場については、保健福祉センター及び保健所の利用者を考慮したレイアウトと十分な配置スペースの確保  
● 犬猫の保護施設については、本市の実情と動物愛護の視点からの設置及び運営  
● 教職員の研修の充実  
等、様々な課題が出されました。

行政視察

本市において参考となる先進地を視察および研修

二本松市 観光推進の取組について

二本松市における観光行政の取組について、デステイネーションキャンペーンの検証とインバウンドの取組を、二本松市役所で聴取しました。まず、担当の観光課8名全員が日本観光士会認定の「観光プランナー」の

松さくら展」を開催し、1か月で3万8千人を集客しました。また、台湾のトップアイドルを起用した二本松の映像を作成し相互交流するなど活発に活動しており、今後連携が必要です。なお今回は、二本松市議会の市政刷新会議とあぶくま会との合同研修でした。



行政視察

観光振興先進地を視察

室蘭市

鉄鋼産業の街であるがその衰退により人口減が続いていました。交流人口を増やすために新たな観光資源として、工場夜景を活用した観光施策を行っており、一定の効果も上がっています。夜景見学バスや洋上のナイトクルージングなど、実際の現場で取り組み方法など聴取することで本市への観光施策への参考となりました。



遊性向上に街中の環境整備を図ることで滞在型観光を目指していることなど聴取しました。本市でも街中居住や滞在型観光を進めるうえで景観条例の活用方法など参考にすべき点があります。

札幌市



ユニスコ創造都市としてメディアアーツ部門で選ばれている札幌の実例を視察。都市のブランド化を進め、魅力を高めることで人をひきつけ、賑わい創出、産業への波及など様々な効果をもたらしていることを聴取できました。本市人口ビジョン実現に向けた総合戦略にユニスコ創造都市を検討することも必要と考えます。

土湯温泉町・四季の里 次世代エネルギーパーク推進事業

福島市次世代エネルギーパーク推進事業の進捗状況と今後の取組の参考とするため、土湯温泉バイナリー発電事業と、四季の里の小水力発電を視察しました。まず、つちゆ温泉エナジー(株)担当者から、復興創生における再生

小水力発電設備について説明を受けながら視察をしました。2か所とも発電とともに観光にも効果のある設備であり、先進的な取り組みとして、市内外に発信することが重要です。なお今回は、米沢市議会の一新会、伊達市議会の創志会及びチーム志民との合同研修でした。



仙台市 地域包括ケア特別講座受講

少子高齢化が進行する中で、地域福祉政策について、神奈川県庁で福祉部門に携わるとともに、介護保険制度の立ち上げに従事した「瀬戸恒彦氏」の講座を、今後の本市福祉政策の参考とするため受講しました。講

義の内容は、高齢者福祉政策の現状と課題・介護保険制度の概要と制度改正の動向・地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域が主役の時代へ・在宅医療、在宅介護の連携促進策・2025年を見据えた介護保険事業計画等さまざまな課題と今後の在り方について伺いました。これからの自治体には財源がない、人がいないと言われる中で日頃から元気な高齢者がボランティア活動や、自分たちができることで、地域を生かす方策を検討していかなければなりません。



当会派の 提出意見書が採択!!

太陽光パネルの リサイクル技術の研究を早急に実施するよう求める意見書

政府が推奨している再生可能エネルギーで、太陽光パネルにおいては明確なリサイクルシステムが確立されておらず、将来的に使用済太陽光発電設備や発電効率の低下等により寿命を迎えた太陽光パネルの大量廃棄処分発生が予想される。環境省では平成28年3月に「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン(第一版)」を策定し、廃棄物としての基本的事項を整理したのみである。しかし、現状では根本的なリサイクル技術の研究が遅れており、大量のごみとして深刻な問題を抱える懸念が続いている。今後再生可能エネルギー開発の研究と合わせて、太陽光パネルの低コストによるリサイクル技術の研究を行うことは、限りある資源の保護とともに、

環境負荷の低減に大いに寄与するものである。よって、政府においては、太陽光パネルのリサイクル技術の研究を早急に実施するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

それぞれの意見書は、地方自治法第99条の規定により、福島市議会議長名で内閣総理大臣をはじめ各担当大臣に提出します。

9月定例会議で採択された 請願・陳情

請願	●学校図書館の蔵書整備・充実に関する事について
陳情	●中核市への速やかな移行について ●中核市への移行に関する事について

平成28年度秋季 議会報告会へお気軽にご参加ください

開かれた議会をめざし、議会改革委員会では、よりわかりやすい議会報告会のあり方を検討中です。今回の議会報告会では以下の4地域において、6月・9月定例会議の内容を中心に市民の皆様にお伝えいたします。



開催日	開会時間	会場
11月12日(土)	午前10時30分	北信支所
11月12日(土)	午後1時30分	もちぢり学習センター
11月13日(日)	午前10時30分	蓬萊学習センター分館
11月15日(火)	午後7時	信夫学習センター

### 9月定例会一般質問（抜粋）

今定例会では、当会派より、白川、大平、川又、小松、半沢、二階堂の6名が市政について質しました。

#### 十六沼公園スポーツ施設の整備について

東京五輪、パラリンピックに向けての整備計画については、十六沼公園に8月オープンした屋根付き運動場の東側に、天然芝サッカーコート2面の整備を平成31年3月末までの完了を目指すと共に、現在のクレーコートも人工芝に改修して設備の充実を図り事前合宿の誘致に弾みを付けます。ソフトボールグラウンドも国際ソフトボール連盟の女子基準を満たすよう、公園西側のグラウンド2面の拡張をする方向で検討しています。また、十六沼公園は駐車場の少なさが課題であるため、スペースを十分に確保しながら整備を図ります。

#### 安心安全な通学路の整備について

野田小学校周辺の通学路は狭隘な県道と市道が交差し、朝夕の通勤時の渋滞や周辺の工場に出入りする大型車等が通行する極めて危険な箇所です。学校等における児童への安全指導も含めた対策とあわせて、児童生徒の安全安心な通学路を確保するため、学校に近い『都市計画道路 南沢又笹木野線』を早期に整備すべきと当局に対し見解を求めました。

答弁では地域ボランティア団体等と学校の連携を強化するとの対策が示されました。都市計画道路の整備は当面困難であるとの答弁がなされましたが、ねばり強く要望してまいります。

#### 「義経サミット」の福島市開催について

全国各地の義経由来の地で、これまで11回開催されている「義経・与一・弁慶・静合同サミット」について、福島市で主催開催することについて検討しているのかどうかを当局に質しました。

これに対して、当局からは市長も福島市の歴史を広めていきたい意向であり、来年度サミットを福島市で開催する方向であるとの説明でした。観光面での波及効果をより高めるためにも、地元観光団体や菩提寺である医王寺との連携をはかり、サミットの成功に向けて企画することを要望いたしました。

#### 市長の出張旅費について

平成27年度中の小林市長の出張旅費は、海外出張が2件で合計251万円余、県外出張が47件で137万円余でした。

市長は県外出張の際、その度に東京の自宅に帰っているのではないかとこの疑いがあります。また、出張前後の所在が不明であるなどしたことから、公用車の運転日誌及び旅行命令書の資料請求を行いました。

市長にも休日が必要ですし、偶には東京の自宅に帰ることを否定はしませんが、危機管理面はもとより公のトップとして、公私の区別が明確にしておかなければならない、と質しました。

#### 本市医療体制の充実について

本市、医療の中核をなす大原総合病院及び福島赤十字病院の建て替え事業は、本市の更なる復興に向けても重要な事業です。その進捗状況と併せて本市が実施する周辺道路整備について質しました。大原総合病院は平成30年1月の開院に向け順調に工事が進んでおり、周辺道路についても市道杉妻町・御山線の一部4車線化を含め開院までに完了させるとのこと、また新福島赤十字病院については八島町にて平成28年10月に着工し平成31年1月開院を予定しており、市道入江町・桜木町の拡幅・歩道整備などを実施しこちらも開院までには完了させるとのことでした。

#### 災害発生前の迅速行動を「タイムライン」策定へ

今回の台風10号の教訓として事前防災計画（タイムライン）の必要性が明確となりました。

台風の上陸や接近、集中豪雨などにより、刻々と災害発生が迫る中では、現場は躊躇なく、事前に決めた防災計画（何時〈誰が〉〈何を〉するのか）に基づいてスピーディーに行動することが求められます。「判断に迷い、決断を先延ばしすることにより被害が拡大する」といったリスクから関係者を開放し、関係団体が防災・避難誘導などに、事前の計画に基づき一致して取り組めます。当局からは「特に、台風上陸・接近にはタイムラインの活用は有効。早期の作成を目指す」との明確な答弁でした。

**尾形 武**  
副会長  
総務常任委員長  
議会運営委員  
政治倫理委員  
松川町浅川字大古内9  
TEL: 548-7683

**真田 広志**  
相談役  
総務常任委員  
議会運営委員  
除染推進委員長  
松浪町 1-15  
TEL: 526-3201

**宍戸 一照**  
顧問  
副議長  
建設水道常任委員  
荒井字上町裏 10  
TEL: 593-1035

**渡辺 敏彦**  
顧問  
文教福祉常任委員  
中核市調査委員  
松川町字青麻山 3  
TEL: 567-2660

**半沢 正典**  
会長  
経済民生常任委員  
中核市調査委員  
政治倫理委員長  
上島渡字寺北 28-3  
TEL: 593-5256

**誉田 憲孝**  
総務会長代行  
総務常任委員  
議会運営委員  
中核市調査副委員長  
政治倫理委員  
本内字西畑 4-6  
TEL: 553-7030

**大平 洋人**  
総務会長  
総務常任委員  
議会運営委員  
除染推進委員  
決算特別副委員長  
八島田字東本庄町 4-27  
TEL: 559-2043

**白川 敏明**  
幹事長代行  
文教福祉常任委員  
議会運営委員会副委員長  
政治倫理委員  
飯坂町字中原 36  
TEL: 542-4041

**小松 良行**  
幹事長  
建設水道常任委員  
中核市調査委員  
瀬上町字東町 2-6-10  
TEL: 553-0647

**黒沢 仁**  
副会長  
文教福祉常任委員  
中核市調査委員  
飯野町大久保字  
谷津 44  
TEL: 562-3582

**編集後記**  
食欲の秋。皆さんのお好きな食べ物は何ですか。今年のおすめは秋の味覚、梨。それも王秋が押しです。王秋は梨の中でも晩成種として知られ福島市でも遅い時期に食すことができます。上手な冷蔵保存で春先の売り込み計画もあるほど。ぜひこれからの福島を代表する品種になることを想像して味わってください。

※正式名称は左記のとおりです  
〔除染推進委員〕  
除染推進等対策調査特別委員  
〔政治倫理委員〕  
議員政治倫理条例策定特別委員  
〔中核市調査委員〕  
中核市移行調査特別委員

**川又 康彦**  
政調会事務局長  
経済民生常任委員  
除染推進委員  
政治倫理委員  
飯坂町字湯町 25  
TEL: 542-4251

**二階堂 武文**  
政調会長代行  
建設水道常任委員  
除染推進委員  
町庭坂字内町 51-2  
TEL: 591-1138

**萩原 太郎**  
政調会長  
経済民生常任副委員長  
除染推進委員  
山口字下屋敷 28-2  
TEL: 535-4693